

取付設置説明書 サイドフード

シロッコファンタイプ

レンジフード本体 品番

S12AHWZML

W12AHWZML

S12AHWZMR

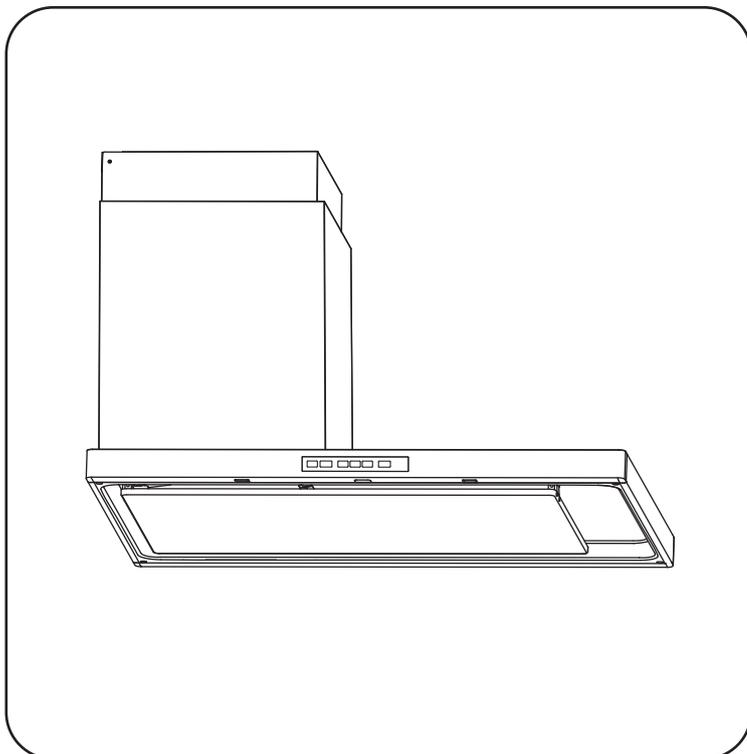
W12AHWZMR

ダクトカバー 品番

S12AHPC

W12AHPC

※品番の頭には「JG」などのキッチンシリーズを示す
英字2文字が入ります。



- この取付設置説明書をよくお読みのうえ、正しく取付設置してください。
特に「安全上のご注意」(2ページ)は、取付設置前に必ずお読みいただき、安全に取付設置をおこなってください。
- 取り付け不備などによる事故や損傷につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 取付設置後に、必ず動作確認をおこなってください。
- 取扱説明書は必ずお客様にお渡しし、使い方を説明してください。
- 梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。

もくじ

安全上のご注意	2
設置上のごお願い	3
各部の名前	4
外形寸法図・結線図	5
付属品・別売品	6
取り付け前に	7~8
取付設置方法	9~15
仕様	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告			
	<p>仕様変更・改造は絶対にしない 火災・感電・けがの原因となります。</p>	 必ず守る	<p>レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う 火災などの原因となります。 詳しくは所轄の消防署（庁）にお問い合わせください。</p>
	<p>指定穴以外へねじを固定しない 内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。</p> <p>指定以外のねじを使用しない 内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。</p>		<p>メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製排気ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける 漏電した場合、火災の原因となります。</p>
	<p>電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p>		<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 ●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
	<p>D種接地工事をおこなう 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。</p>		<p>電源コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する 火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署（庁）にお問い合わせください。</p>
	<p>排気工事をおこなう場合、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って、取付設置する 火災など重大な事故の原因となります。</p>	<p>給気電動シャッター連動用コード、電動シャッター連動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する 火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署（庁）にお問い合わせください。</p>	
	<p>交流100ボルトで使用する 火災・感電の原因となります。</p>		

 注意			
	<p>本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する 落下により、けがをするおそれがあります。</p>	 必ず守る	<p>配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなう 誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。</p>
	<p>取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する 板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。</p>		<p>本体は指定の方法で確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。</p>
	<p>取り付け金具やねじは付属のものを使用する 落下により、けがをするおそれがあります。</p>		<p>部品は確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。</p>

設置上のお願い

取り付け場所について

- ガス調理機器、電気調理機器の真上、80cm以上の位置に取り付けてください。

火災予防条例ではフィルターの下端がガス調理機器、電気調理機器の真上80cm以上必要です。(取り付け位置が高すぎると吸い込みが悪くなります)

- エアコンなどによる横風の当たる場所には取り付けないでください。

横風の影響を受けると吸い込みが悪くなる場合があります。

- 照明器具と受信部を近づけすぎないでください。

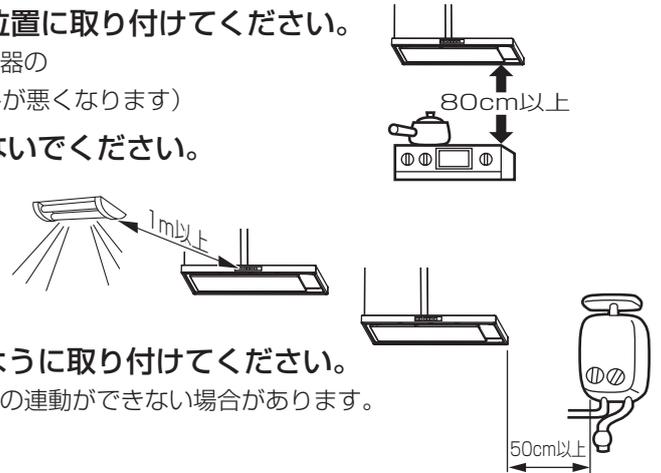
照明器具が受信部から1m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。

- 本体や排気ダクトなどが他の電気機器と接触しないように取り付けてください。

照明などの電気機器のノイズにより、リモコン操作や調理機器との連動ができない場合があります。

- ガス湯沸かし器は側方に離して取り付けてください。

高温により故障の原因となります。



ご使用部品について

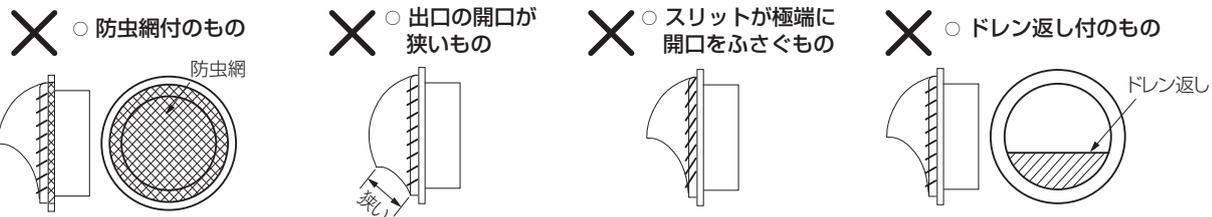
- パイプフード、ベントキャップは、排気抵抗の小さいもの(排気ダクト直管長さ25m相当以下)をご使用ください。

6ページの別売品をご確認ください。

- 接続するシャッターはそれぞれ5W以下のものを使用してください。

故障の原因となります。

- 下記のパイプフード、ベントキャップは使用しないでください。



施工について

- 羽根をはずした状態でモーターを回転させないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。

- 羽根の回転バランスをとるために balanser (重り) が付いている場合がありますが、絶対にはずさないようにしてください。

異常や故障の原因となります。

- 全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。

- 空気の取り入れ口(給気口)を設けてください。

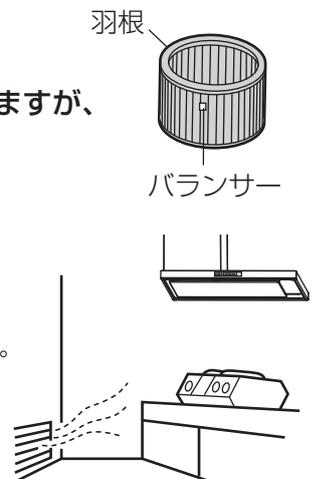
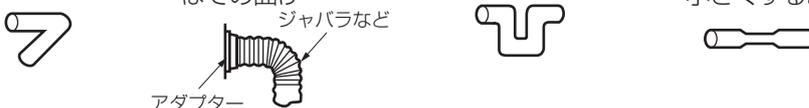
(開口面積100~150cm²が目安となります。)

給気電動シャッターを使わない場合は排気性能確保のため、空気の取り入れ口を設けてください。

- 次のような配管工事はしないでください。

(吐出口のすぐそばで曲げると、シャッターが開かなくなり正しく排気されません)

- (1) 極端な曲げ (2) 吐出口のすぐそばでの曲げ (3) 多数回の曲げ (4) 接続ダクト径を小さくする。



各部の名前

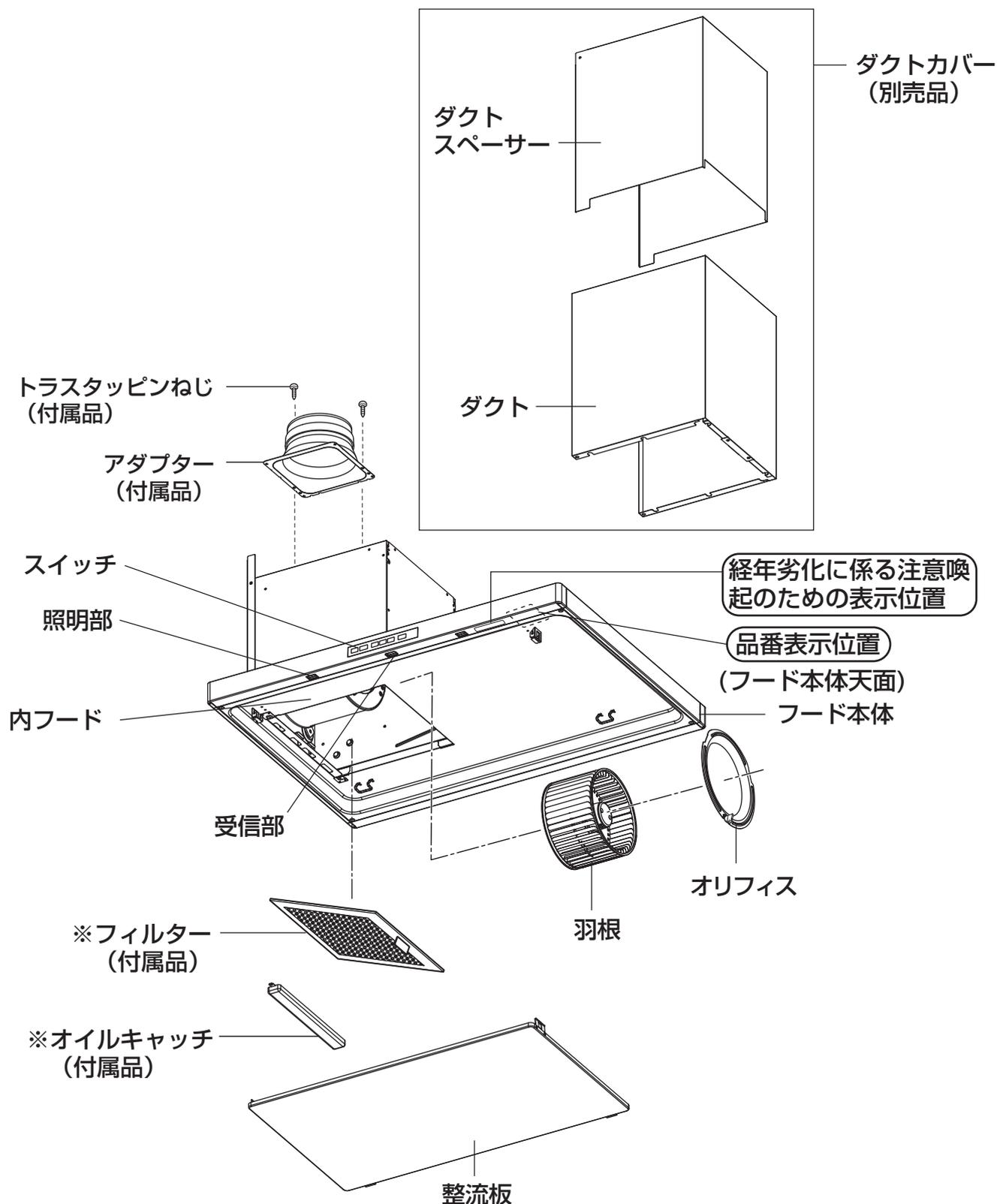
品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

お願い

品番をご確認ください。

(修理依頼などのアフターサービスをご利用の際に、品番が必要になります)

イラストはS12AHWZML、W12AHWZMLを示します。

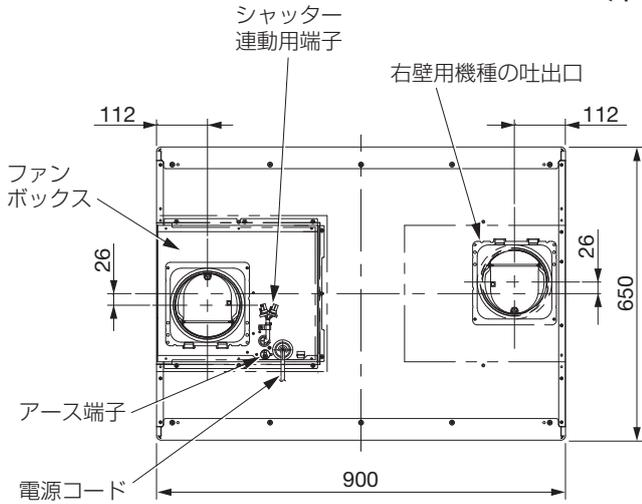


※印 はっ水塗装をおこなっています。
塗装色により色が異なります。

外形寸法図・結線図

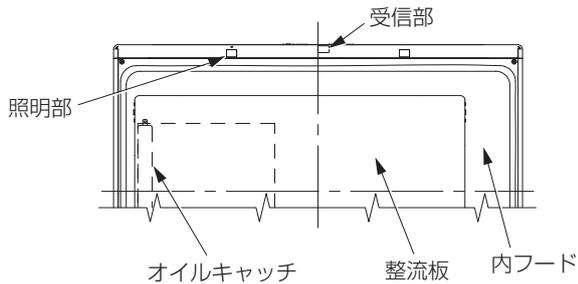
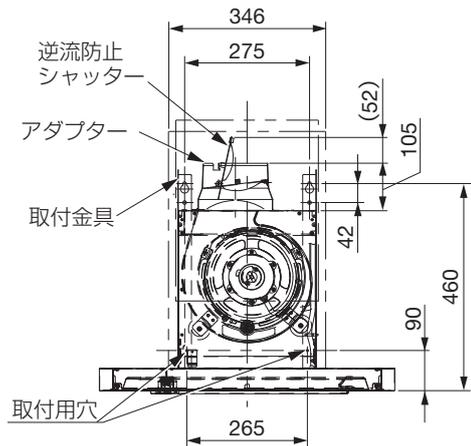
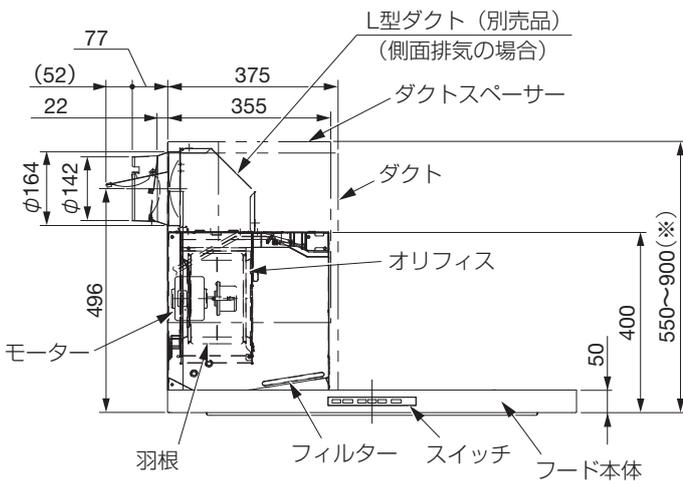
外形寸法図

(単位：mm) ■接続ダクト（市販品）



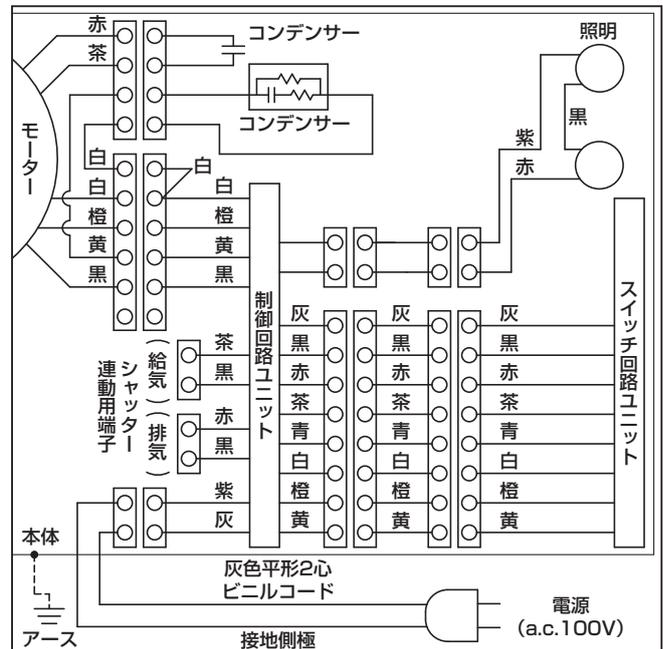
呼び径	種類
φ150 (6番)	鋼板スパイラルダクト

	質量 (kg)	質量合計 (kg)
S12AHWZML W12AHWZML S12AHWZMR W12AHWZMR	19	24
S12AHPC W12AHPC	5	



※ 側方排気の場合は、600~900になります。

結線図



付属品・別売品

お願い

この製品専用の付属品あるいは指定のもの(別売品)以外は使用しないでください。

付属品

<レンジフード付属品>

- トラスタッピンねじ (φ4×8)  2個
(アダプター取付用)
- トラスタッピンねじ (φ4×40)  4個
(フード本体取付用)
- トラス転造ねじ (φ5×8)  4個
(取付金具取付用)
- 取付金具  2個
- オイルキャッチ  1個
(フード本体に取り付けられています)

- アダプター  1個
- パッキングテープ  1個
(ダクト接続用)
- 常時換気お願いラベル  1枚
- フィルター  1枚

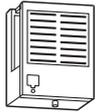
<ダクトカバー付属品>

- トラスタッピンねじ (φ4×40)  3個
(スペーサー止め金具取付用)
- トラスタッピンねじ (φ4×8)  1個
(ダクト取付用)
- 傷防止用保護シート  1枚

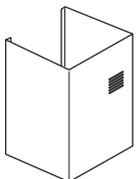
- バインドタッピンねじ (φ4×8)  2個
(ダクトスペーサー取付用)
- スペーサー止め金具  1個

別売品

(FY……品番はパナソニック エコシステムズ(株)製のもので、別途手配願います。)

<p>〔パイプフード〕  FY-MCX062 FY-MCXB062(防火ダンパー付き) FY-MFX063 FY-MFXB063(防火ダンパー付き)</p>	<p>〔ベントキャップ〕  FY-VCX062 FY-VCXB063(防火ダンパー付き)</p>
<p>〔給気電動シャッター〕  FY-DQS63BLK FY-DQSA63BLK (防火ダンパー付き)</p>	<p>〔給気電動シャッター連動用コード〕 (給気電動シャッターを) 使用される場合)  FY-WW001</p>

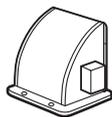
〔同時給排ユニット〕



S12AHDM900

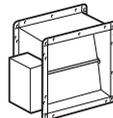
※同時給排ユニットの取り付けは、同時給排ユニットの取付設置説明書をご覧ください。

〔電動シャッター付きL型ダクト〕



O8AHKS2

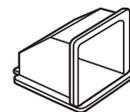
〔電動シャッター〕



O8AHKS1

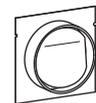
※ダクト配管位置が変わります。詳しくは電動シャッターの取付設置説明書をご参照ください。

〔L型ダクト〕



O9AH3P

〔薄型アダプター〕



O9AH4P

※S96AHWZL/R、S96AHWZML/Rからの側方排気の置き換えまたは、壁材に角穴をあけられないときに使用します。

〔ダクトカバーフタ〕



S12AHPCC
W12AHPCC

※ダクトカバーの天面をふさぐときに使用します。

〔リモコン〕

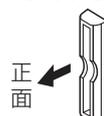


正面

RIMOKON3Z

〔壁付けホルダー〕

(リモコン送信機を壁に取り付ける場合)



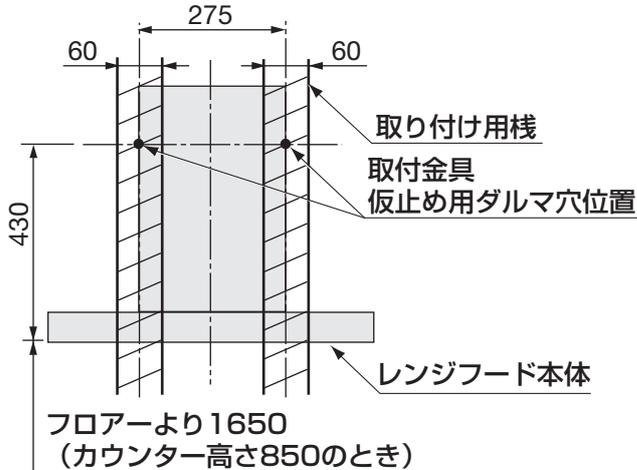
正面

O3AH1P

取り付け前に

1.レンジフード取り付け用棧工事

1、レンジフードの取り付け用棧は下図のように固定します。〔単位：mm〕



注意

必ず守る

本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
落下により、けがをすることがあります。

- 2、取り付け用棧は厚み30mm×幅60mm程度のもの（できれば防虫処理したもの）を使用してください。
- 3、レンジフード本体とダクトカバーの質量（24kg）に十分耐える取り付けをしてください。しっかり取り付けられていないと、騒音、振動の原因になります。
- 4、レンジフードは、水準器を使用して水平に取り付けてください（0.5度以下）。傾いて取り付けますと、オイルキャッチに油がたまらないおそれがあります。

2.排気ダクト配管について

- 1、製品外形寸法図、または下図の吐出穴位置に壁穴をあけてください。
- 2、上方排気の場合は、φ150のスパイラル管を下図のような位置にセットして周囲を仕上げてください。側方排気の場合は、L型ダクトを組み合わせたアダプターの位置にφ150のスパイラル管をセットして周囲を仕上げてください。

上方排気の場合

400
112
50
フロアより1650以上
(カウンター高さ850のとき)

側方排気の場合

215
200
400
96
26
22
96
外壁
(角穴をあけない)
壁材
215
200
角穴
取り付け用棧
フロアより1650以上
(カウンター高さ850のとき)

図のような角穴を取り付け用棧に沿ってあけてください。
(壁材のみにあけ、取り付け用棧および外壁にはあけないで)ください。
ダクト配管時にアルミテープを巻きやすくするためにおこないます。

3、側方排気の場合は、下記数値以上の壁厚の所に本体を取り付けてください。

防火ダンパー付きパイプフード使用時	220mm以上
防火ダンパー無しパイプフード使用時	140mm以上

※アダプターのシャッターがパイプフードに当り完全に開かない場合があります。

取り付け前に (続き)

3.電気工事について

※電気工事は電気工事業者にご依頼ください。

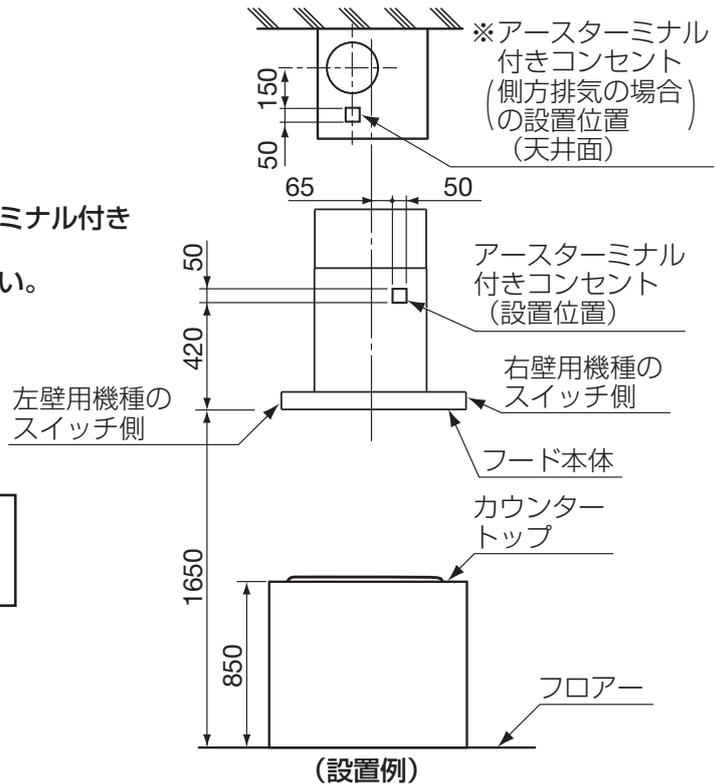
1. 電気工事のご注意

- 本機は交流100V仕様です。
- 本体を設置する場所の、図の位置にアースターミナル付きコンセントを設置してください。
※側方排気の場合は、天井面に設置してください。
- アース工事を必ずおこなってください。

2. 漏電遮断器の設置について

万一の漏電事故時安全確保のために、漏電遮断器の設置をしてください。

推奨漏電遮断器	住宅分電盤小形漏電ブレーカー 定格電流20A, 感度電流15mA
---------	-------------------------------------

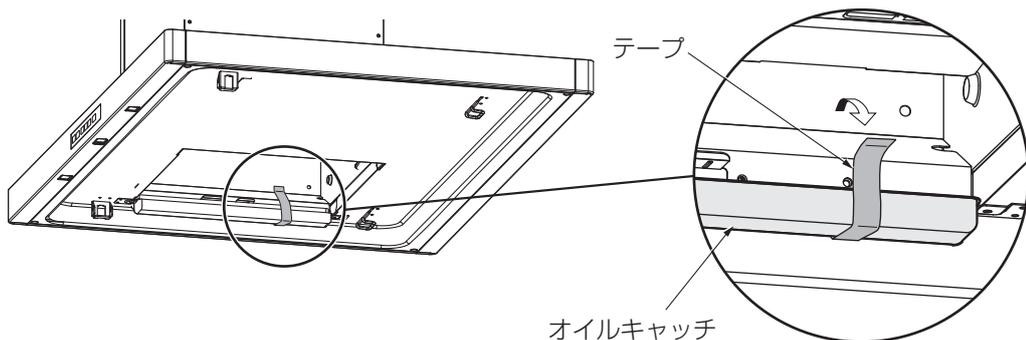


4.換気連動システムとしてレンジフードを使用する場合について

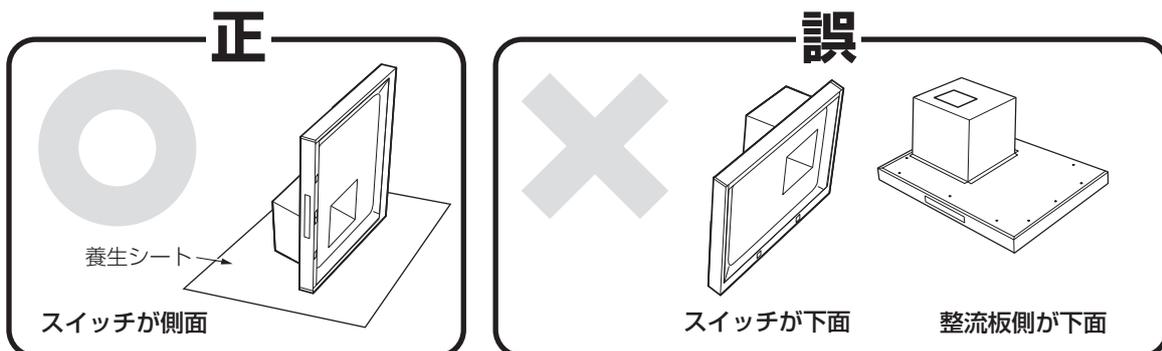
換気連動システムの取付設置説明書もあわせてご参照ください。
詳しくは販売店にご確認ください。

5.開梱の際は

1. 本体に取り付いている包装材 (段ボール、テープ) を必ず取りはずしてください。
本体表面の保護シートは、施工終了まではがさないでください。(傷つき防止のため)
 - オイルキャッチのテープのはずしかた



2. 下図のように正しい置きかたをしてください。

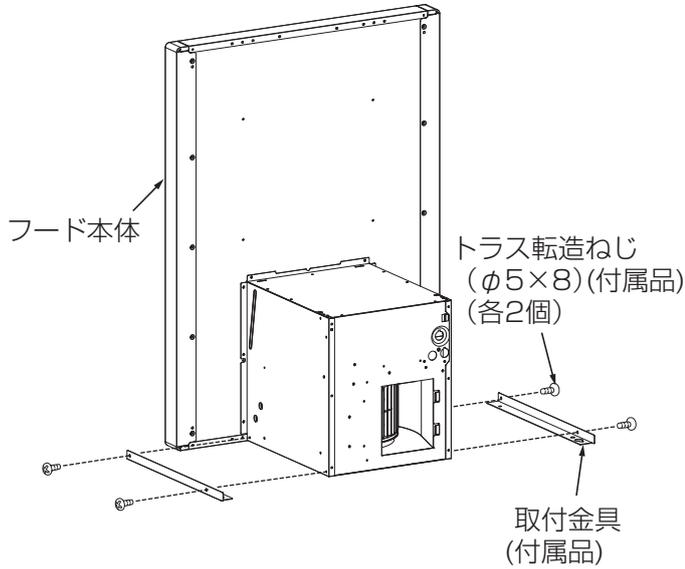


※誤った置きかたをしますと傷や破損の原因となります。

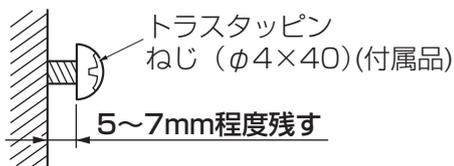
取付設置方法

1. フード本体の取り付け

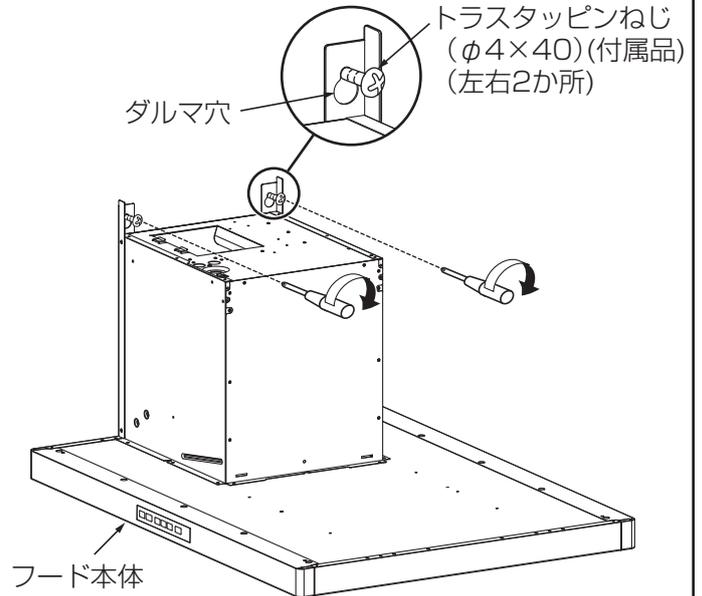
- ①取付金具を付属のトラス転造ねじ（ $\phi 5 \times 8$ ）で取り付け。



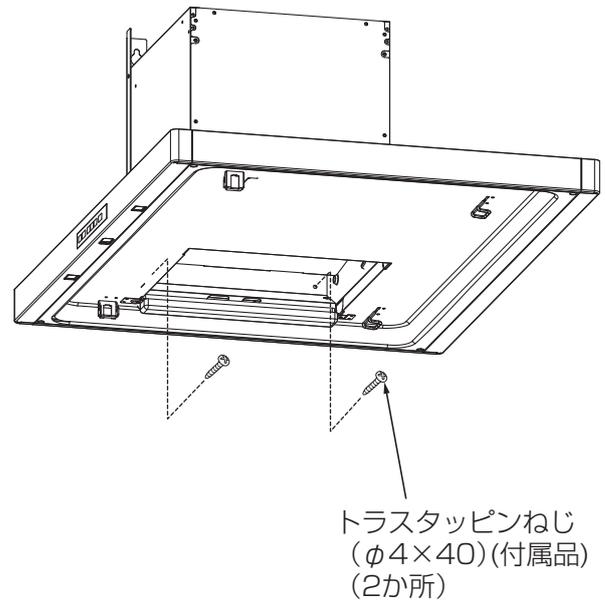
- ②取付金具仮止め用ダルマ穴位置（2か所）に付属のトラスタッピンねじ（ $\phi 4 \times 40$ ）を仮止めする。



- ③フード本体のダルマ穴を仮止めしたトラスタッピンねじ（ $\phi 4 \times 40$ ）に引っ掛け、締め付ける。



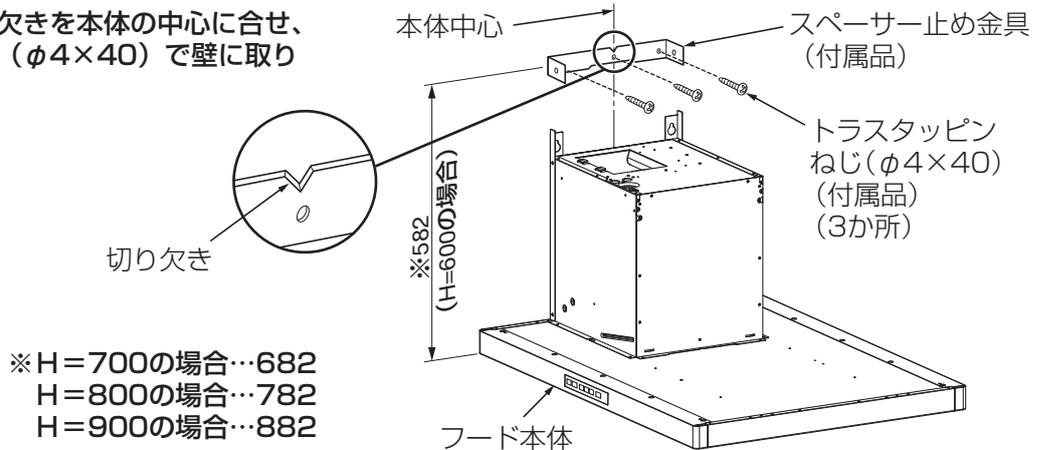
- ④付属のトラスタッピンねじ（ $\phi 4 \times 40$ ）でフード本体を固定する。（2か所）



取付設置方法 (続き)

2. スペーサー止め金具の取り付け

スペーサー止め金具の切り欠きを本体の中心に合せ、付属のトラストッピンねじ (φ4×40) で壁に取り付ける。

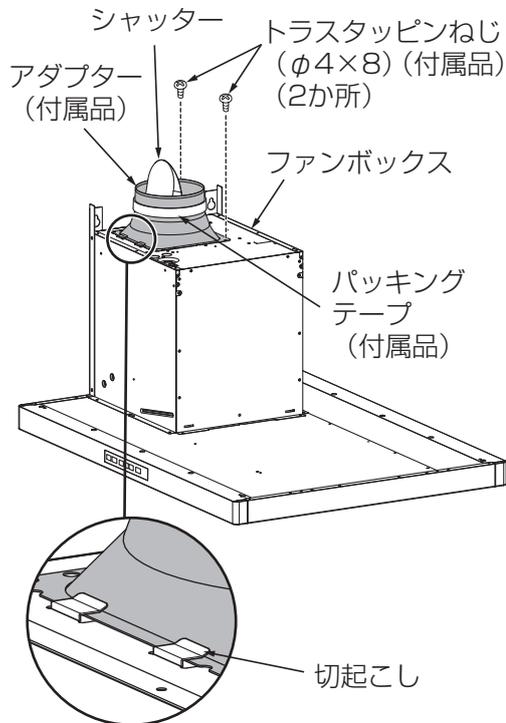


※ H=700の場合…682
H=800の場合…782
H=900の場合…882

3. アダプターの取り付け

上方排気の場合

- ① アダプターに付属のパッキングテープを貼り付けた後、ファンボックスの切起こし (2か所) にアダプターを差し込み、付属のトラストッピンねじ (φ4×8) で固定する。

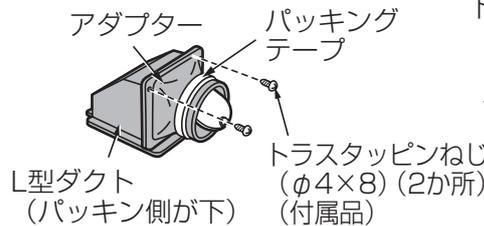


- ② 排気ダクトと接続した部分にアルミテープを巻きつけ、空気もれを防ぐ。



側方排気の場合 (設置高さ600mm以下の場合、側方排気はできません。)

- ① L型ダクト (別売品) へアダプターをトラストッピンねじ (φ4×8) で固定する。

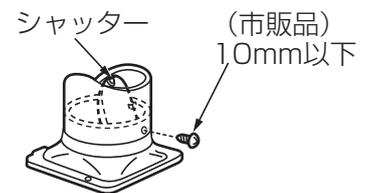
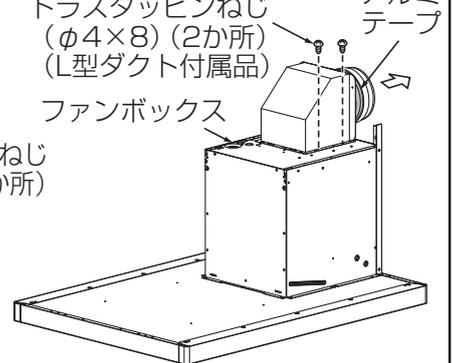


- ② L型ダクトをファンボックスにトラストッピンねじ (φ4×8) で固定する。

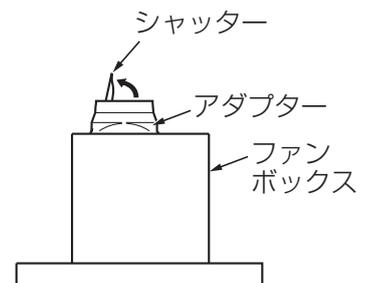
お願い

- 排気ダクトをねじ止めする場合は、長さ10mm以下のねじを使用し、シャッター可動部にあたらぬように固定してください。

- ③ 排気ダクトと接続した部分にアルミテープを巻きつけ、空気もれを防ぐ。



- シャッターがアダプターにテープで固定されている場合は、テープを取り除いてください。
- アダプターのシャッターが右図の方向に開くように、ファンボックスに取り付けてください。



- 排気ダクトと可燃物の距離は、10cm以上離すか、もしくは下記の処理をしてください。
 - ・ 5mm以上の不燃材料で被覆し、かつ50mm以上離す。
 - ・ 50mm以上の不燃材料で被覆する。

4. 電源の接続

警告



アース線接続

D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



必ず守る

電源プラグは根元まで確実に差し込む

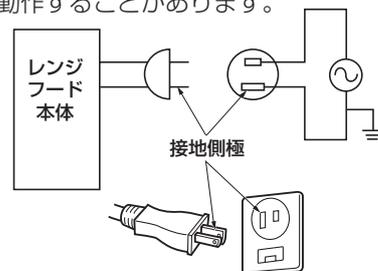
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する

火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署(庁)に問い合わせてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - 屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。
 - 万一の感電防止のため、必ずフード本体天面のアース端子を使用してアース工事をしてください。
- ※アース工事をしていないと、スイッチが誤動作することがあります。



5. ダクトカバー（別売品）の取り付け

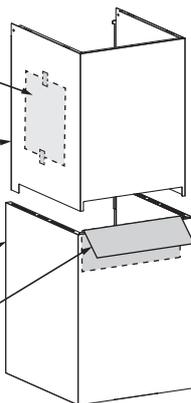
- ①ダクトスペーサーとダクトの保護シートをはがす。

※傷防止用保護シートはここにあります。

- ②付属の傷防止用保護シートを右図の位置にセットし、ダクトにダクトスペーサーを重ねる。

ダクト
スペーサー

ダクト
傷防止用
保護シート
(付属品)

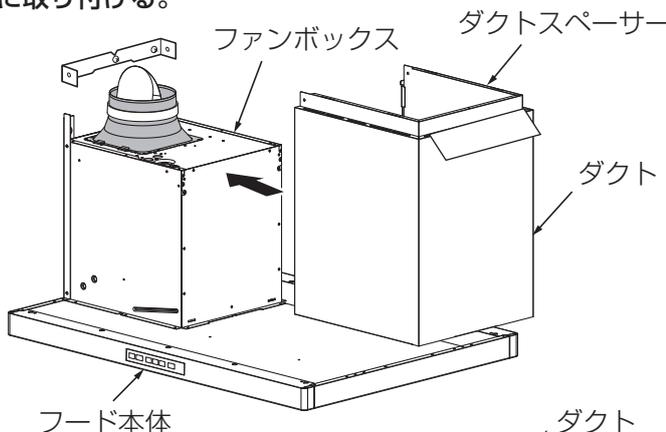


- ③ダクトスペーサーとダクトをファンボックスに沿うように取り付ける。

ファンボックス

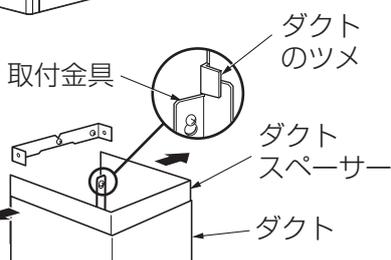
ダクトスペーサー

ダクト



フード本体

- 左右取付金具の内側にダクトのツメがきちんとかかっているか確認してください。
- ダクトが広がらないことを確認してください。



取付金具

ダクト
のツメ

ダクト
スペーサー

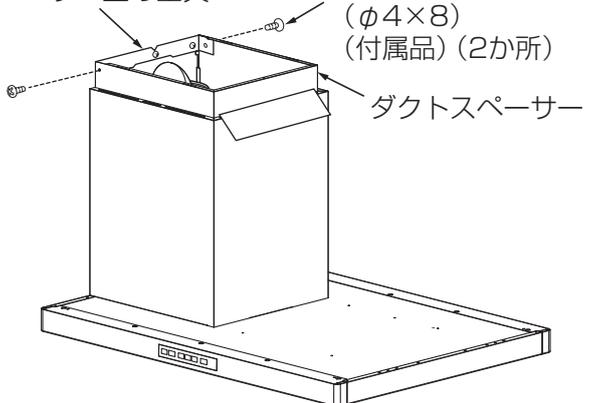
ダクト

- ④ダクトスペーサーを付属のバインドタッピンねじ(φ4×8)でスペーサー止め金具に固定する。

スペーサー止め金具

バインドタッピンねじ
(φ4×8)
(付属品) (2か所)

ダクトスペーサー

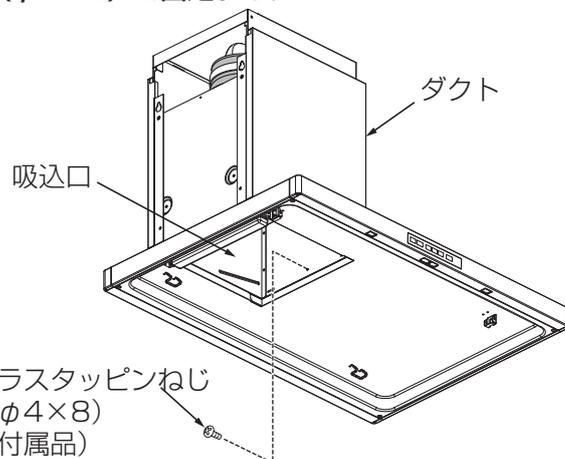


- ⑤ダクトを吸込口内側から付属のトラスタッピンねじ(φ4×8)で固定する。

吸込口

ダクト

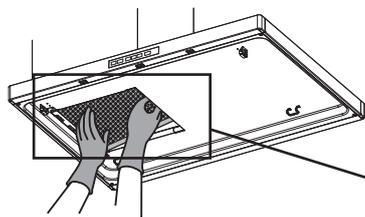
トラスタッピンねじ
(φ4×8)
(付属品)



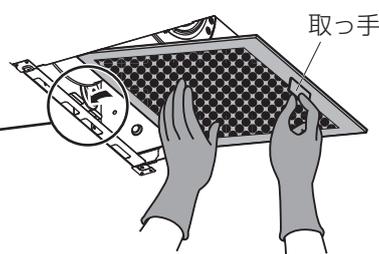
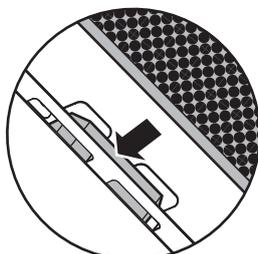
- ⑥傷防止用保護シートを取りのぞく。

取付設置方法 (続き)

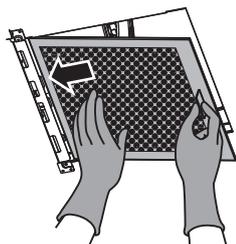
6. フィルターの取り付け



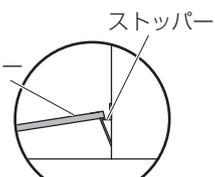
① フィルターの取っ手を持ち、フード本体に差し入れる。



② 矢印方向へ押しながら



③ 押し上げてはめる。



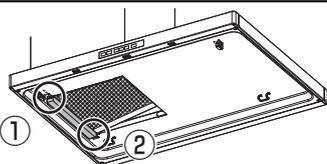
ストッパーの上に
フィルターが乗り
上げて固定されます。

※ フィルターは少しななめに取り付きます。

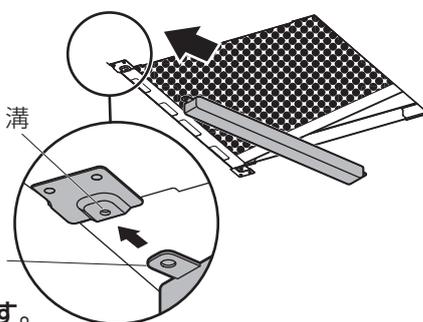
お願い

フィルターがきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

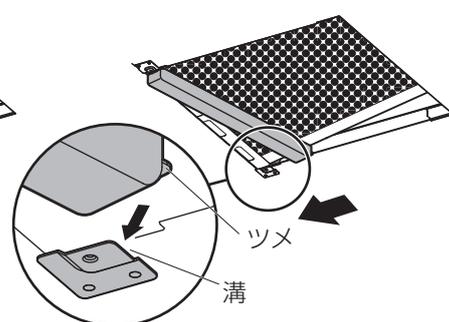
7. オイルキャッチの取り付け



① ツメを溝にはめる。



② もう一方のツメをはめる。



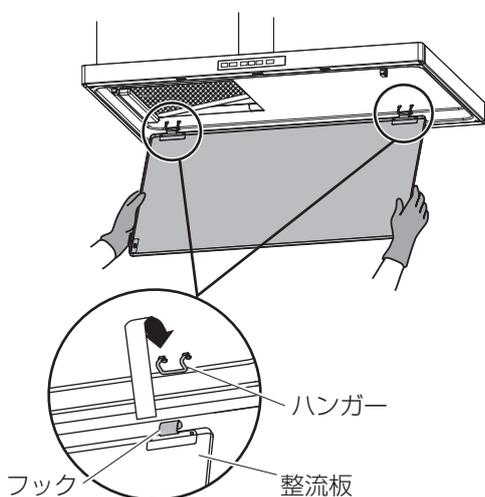
※ 左右の溝の構造が異なります。
順番にはめてください。

お願い

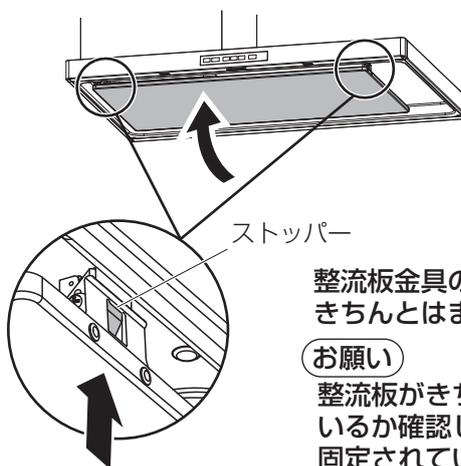
オイルキャッチがきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

8. 整流板の取り付け

① ハンガーにフックを掛ける。



② 整流板を押し上げる。



整流板金具の穴がストッパーに
きちんとはまるまで押し上げる。

お願い

整流板がきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

9. ラベルの貼り付け

このレンジフードを常時換気設備として使用する場合は、常時換気お願いラベルをスイッチ付近に貼り付けてください。

※常時換気お願いラベルは付属品の中に入っています。

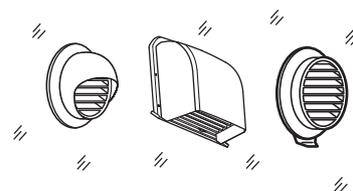
常時換気対象面積の目安

必要換気回数0.5回/h以上の場合
 常時換気対象面積：約83㎡(50畳)以下
 (天井高さ2.5mとして計算)
 詳しくは工務店様にご確認ください。



10. 外壁面の取付設置

●外壁面には、パイプフードまたはベントキャップを現場にて調達し、付属の取付設置説明書に従って取り付けてください。



11. 動作確認

●分電盤のブレーカーを入にして、本体操作スイッチでの動作を確認してください。換気連動システムで使用する場合は調理機器との連動動作を確認してください。(調理機器の仕様によっては、下表のチェック欄と異なる場合があります)

(参考)

本体側	チェック欄	調理機器側	チェック欄
常時		運転 常時	
弱		入 弱	
強		風量 強	
照明 切/入		照明 切/入	
🔌		運転 切	
切			

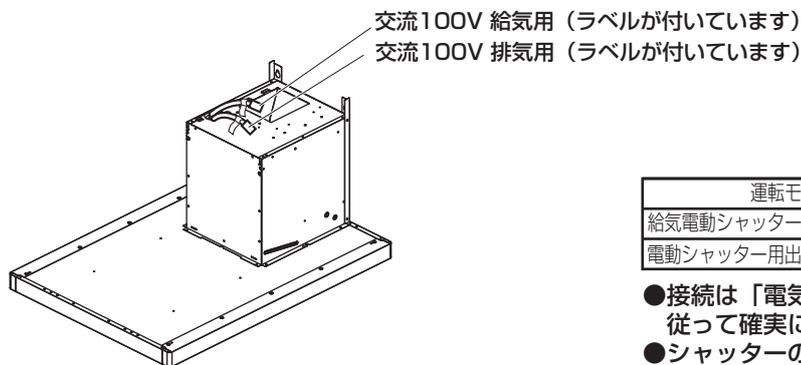
- 運転時、排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
 ※羽根は回っていますか？
 羽根はボタン操作後、約5秒後に回りはじめます。
- 異常な騒音・振動がないことを確認してください。
- 本体の「切」、調理機器側の「運転切」は、2回押すと運転が停止します。
- 本体操作スイッチの「🔌」ボタンを3秒以上押すとロック状態となり、操作を受け付けなくなります。ロックを解除するには、再度本体操作スイッチの「🔌」ボタンを3秒以上押してください。

取付設置が完了しましたら、フード本体の保護シートをすべてはがしてください。

取付設置方法 (続き)

シャッター (別売品) の取り付け

本レンジフードには、運転に連動させてシャッターを開閉することができる接続コネクタがついています。



運転モード	常時	弱	強
給気電動シャッター用出力 (給気用)	出力無し	交流100V	交流100V
電動シャッター用出力 (排気用)	交流100V	交流100V	交流100V

- 接続は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に接続してください。
- シャッターの取付設置は、各種シャッターに付属の工事説明書または取付設置説明書にもとづき確実にこなってください。

警告



必ず守る

給気電動シャッター連動用コード、電動シャッター連動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する

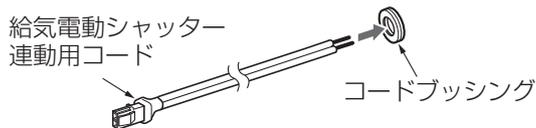
火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署 (庁) に問い合わせてください。

取り付け前に

●給気電動シャッター連動用コード

「給気電動シャッター連動用コード」からコードブッシングを取りはずしてください。

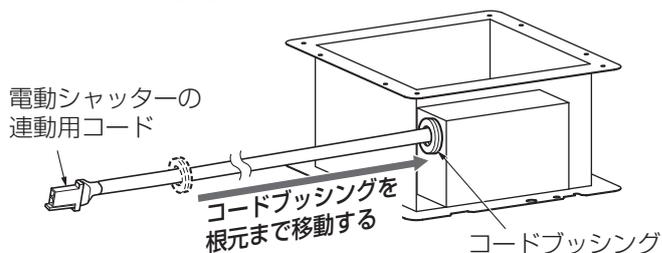
(本機種では使用しません)



●電動シャッターの連動用コード

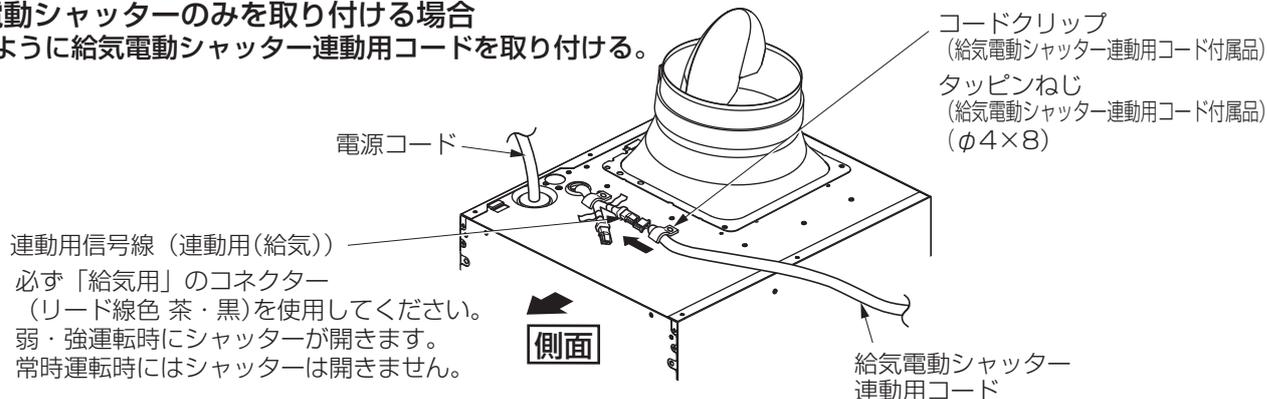
「電動シャッターの連動用コード」のコードブッシングを連動用コードの根元まで移動してください。

(本機種では使用しません)



A. 給気電動シャッターのみを取り付ける場合

右図のように給気電動シャッター連動用コードを取り付ける。



※詳細は給気電動シャッターの工事説明書を参照してください。

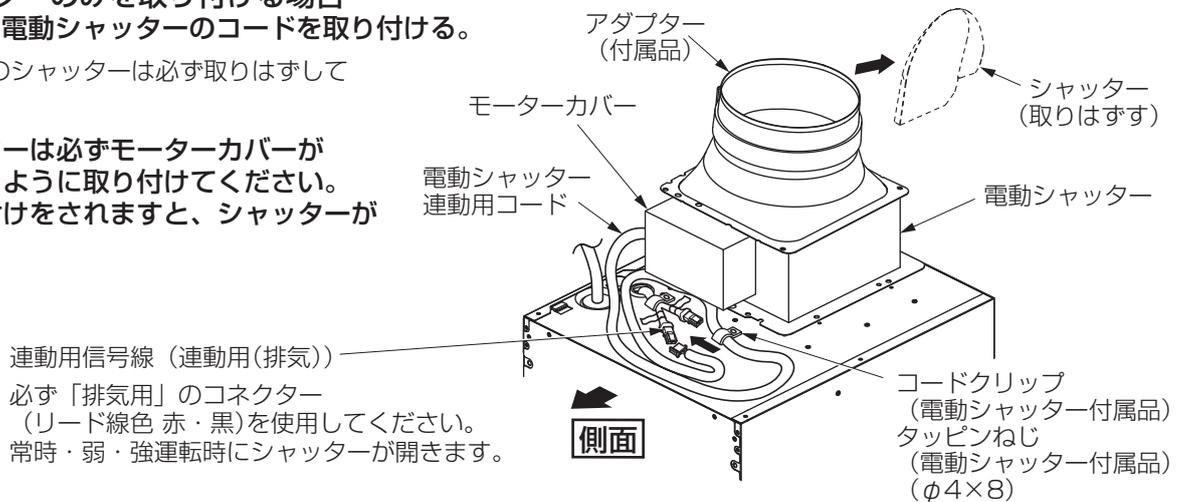
シャッター（別売品）の取り付け（続き）

B. 電動シャッターのみを取り付ける場合

右図のように電動シャッターのコードを取り付ける。

※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。

電動シャッターは必ずモーターカバーが正面側にくるように取り付けてください。誤った取り付けをされますと、シャッターが開きません。



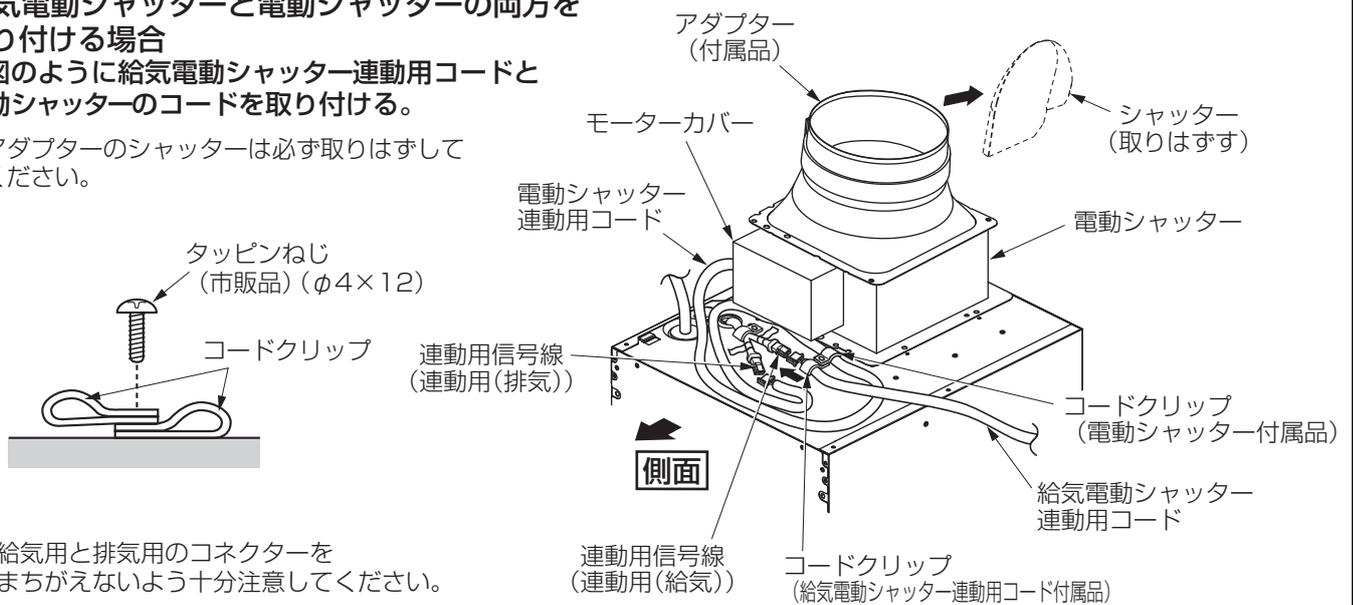
必ず「排気用」のコネクター
(リード線色 赤・黒)を使用してください。
常時・弱・強運転時にシャッターが開きます。

※詳細は電動シャッターの取付設置説明書を参照してください。

C. 給気電動シャッターと電動シャッターの両方を取り付ける場合

右図のように給気電動シャッター連動用コードと電動シャッターのコードを取り付ける。

※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。



※給気用と排気用のコネクターを
まちがえないよう十分注意してください。

※給気電動シャッターは、弱・強運転からの停止操作後、約5秒後に閉じるように設計されています。

※詳細は給気電動シャッターの工事説明書および電動シャッターの取付設置説明書を参照してください。

仕様

	品番	質量 (kg)		定格	風量調節	消費電力(W)	換気風量(m ³ /h)	騒音(dB)
レンジフード 本体	S12AHWZML W12AHWZML	19	24	単相 100V 50/60Hz	強	76/88	540/525	46.5/45
	S12AHWZMR W12AHWZMR				弱	50/54	365/345	38/35.5
ダクトカバー	S12AHPC W12AHPC	5			常時	11.5/14	150/160	18/18.5

上記仕様は静圧OPa（パスカル）時の値です。

静圧OPa（パスカル）とは、レンジフードにおよぼす圧力が「0（ゼロ）」の状態を示します。

●このレンジフードは、ご使用にならないときでも約0.5Wの電力を消費しています。

●レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

©Panasonic Corporation 2013